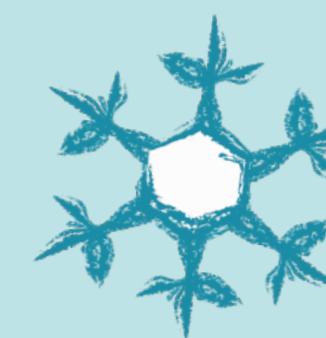


苗場山麓ジオパークにおける地域との連携

苗場山麓ジオパーク
Naeba-Sanrok Geo Park

認定商品制度の創設と、認定商品の認定

苗場山麓ジオパーク振興協議会、商品開発部会では、苗場山麓ジオパーク認定商品制度を2年間かけて検討してきました。創設に向けて、栗駒山麓ジオパークへ訪れ、その取り組みを研修しました。昨年、エリア内の事業者に呼びかけ、認定商品を認定するための審査会を開催しました。

結果、13点の商品を「大地のたからもの」として認定し、認定証を発行するとともに、認定商品を提供するお店の前には、認定がわかる幟を設置しました。

さらに、より多くの方に認定商品を知ってもらおうと、紹介パンフレットを作成するとともに、エリア内の旅館、商店など観光客が訪れる場所に設置し、認定商品の認知度向上を目指して活動をおこなっています。

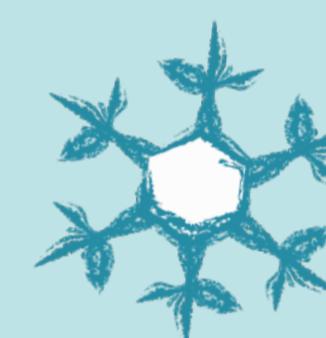
また、認定商品を苗場山麓ジオパークだよりも毎号1商品ずつ掲載して紹介しています。このたよりは、全国のジオパークや、エリア内に配布とともに、ホームページでもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。そして、詳しい商品の詳細は右記のQRコードからアクセスしてホームページでご覧ください。



認定式の様子



パンフレットとパンフレット QR コード



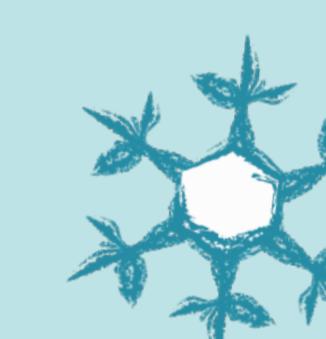
苗場山麓ジオパーク・ジグソーパズルの製作

昨年度より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集落の集まりやお祭り、子ども会などの活動がなかなかできない状況が続いています。

そのような中、毎年、ジオツアーを開催していた集落では、お家でジオパークを楽しめるようにと、ジオサイトの写真を入れ込んだジグソーパズルを作成しました。お家で、家族と一緒にこのジグソーパズルを作りながら、ジオサイトについて話題となり、落ち着けば、ぜひとも現地へ行ってみたいという機運を高めています。今後、このジグソーパズルの商品化が課題となっています。



ジグソーパズル



小学生によるジオパークカード作成

津南小学校4年生は、昨年引き続き、ジオパーク学習を展開しています。

3年生の時には、エリア内のジオパークを巡り学習を深めるとともに、夏休み期間に、家族などに苗場山麓ジオパークの認知度調査を行いました。

その調査では、年齢が20~30代の人々が苗場山麓ジオパークを知らないという結果を受け、その世代に、苗場山麓ジオパークを知らもらうにはどうしたらよいかと考えました。

20~30代に知らうための様々なアイディア出たなかで、ジオパークカードを作り、そのカードをジオパーク関連施設に置き、受け取れるようになりますことで、関心が高まるのではないかと取り組みが始まりました。

カードは大変凝っており、QRコードをはじめ、カードの中にクイズを入れたり、じゃんけんができるようにしたり、さらにシークレットカードを設けて、より集める動機付けをした様々な工夫が行われました。16種類の、カードを6か所の施設にて配布が行われました。周知には、チラシを作成したほかに、YouTubeにPR動画も作成しました。

大人ではとても作れないカードが完成しました。

ぜひとも、右記のQRコードからアクセスしてご覧ください。



ジオパークカード



カード紹介の様子①



カード紹介の様子②

